

各位

2005年11月11日  
日中産学官交流機構

第4回日中産学官交流フォーラム

「ロボットの未来と日中交流」開催のご案内

拝啓 晩秋の候 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当機構では、昨年11月の設立以来、都市創新、医学・ライフサイエンス、環境・農業、経済・金融など、あらゆる方面における、日中交流を進めて参りました。今回、日中のロボット分野における専門家による昨年よりの議論を重ね、その成果として、来る12月1日、2日に東京大学山上会館にて、「ロボットの未来と日中交流」と題しまして、フォーラムを開催いたします。

皆様方にはご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加いただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. テーマ 「ロボットの未来と日中交流」
2. 日時 2005年12月1日(木)9時~12月2日(金)19時
3. 場所 東京大学山上会館大会議室(本郷キャンパス)
4. 開催形態
  - (1)主催:日中産学官交流機構
  - (2)共催:産業技術総合研究所、情報通信研究機構
  - (3)後援(予定):総務省、外務省、経済産業省、文部科学省、科学技術振興機構、日本ロボット工業会、製造科学技術センター、日本ロボット学会、華人教授会、在日中国科学技術者連盟、留日学人活動站
  - (4)協賛:トヨタ自動車、日立製作所
5. 参加費 無料
6. お申し込み方法

ご参加には事前申し込みが必要です。別紙にて11月28日(月)までに、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。お申し込みの際には、パネルディスカッション(2日目 15:30~17:30)における参加希望セッションをご記入ください。

なお会場の都合により定員に達し次第、申し込みを締め切ることがございますので、ご了承ください。お申し込みを締め切った場合のみご連絡いたします。

7. 連絡先

日中産学官交流機構 事務局 担当 柳瀬、宇賀

〒102-0074 東京都千代田区九段南2丁目3番18号 九段ビル

電話 03(3556)9455 FAX 03(3556)9456

E-mail : [nicchu@mva.biglobe.ne.jp](mailto:nicchu@mva.biglobe.ne.jp)

以上

## 第4回日中産学官交流フォーラム

### 「ロボットの未来と日中交流」企画書

#### 1. 開催趣旨

日本との交流に関心をもつロボット分野<sup>\*</sup>の中国人研究者、技術者、経営者、ビジネスマン、および日本に滞在した中国人をホストした経験のあるロボット分野の日本人研究者、技術者、経営者、また、ロボット技術を介しての中国との交流に関心をもつ日本人などが一堂に会し、日・中におけるロボット技術の現状、両国における注目される話題、また、近未来におけるロボット技術に対するニーズなどを紹介しあう場を提供するとともに、特に、ロボット分野の産業協力、学術協力などに関する高密度な議論を行うために実施いたします。

今回は、話題をメンテナンスロボット、ホームサービスロボット、産業協力、基礎研究の4分野に絞り、プログラム委員会の推薦あるいは公募の中から選定された日中の講演者に講演をお願いすると同時に、前記4分野について参加者による討論の場を設け、日中の今後の交流のあり方について議論を深めることといたします。

今回のワークショップでは公用語は日本語を採用いたします。すなわち一部の招待講演は中国語あるいは英語で行いますが、その他は中国人・日本人に関わらず講演はすべて日本語で行います。そのために、日本語を理解する日本に滞在経験のある日本あるいは中国、諸外国に滞在する多数の中国人のロボット分野の研究者、技術者、経営者、ビジネスマンに広く参画を要請し、日本語で中国の実情を講演いただき、また、日本側も日本の実情を日本語を介して日本語を理解する中国人により精密に紹介することで、従来の英語、日中二カ国語同時通訳などを使用する会議ではカバーできなかった、きめ細かい両国の状況に対する双方の理解を両国関係者に深めていただき、大中小のビジネスを問わず新たな日中交流分野を広く開拓することを目指します。

\* ここでいうロボット技術、ロボット分野は、いわゆるロボット技術のみならず、メカトロニクス技術、知能化技術、ITを応用したシステムの制御技術など、システムを知能化する技術を広く含むものとします。

#### 2. 開催日および場所

- (1) 開催日：2005年12月1日(木)、2日(金)
- (2) 場 所：東京大学山上会館大会議室(本郷キャンパス)

#### 3. 主催・共催等

- (1) 主催：日中産学官交流機構
- (2) 共催：産業技術総合研究所、情報通信研究機構
- (3) 後援(予定)：総務省、外務省、経済産業省、文部科学省、科学技術振興機構、  
日本ロボット工業会、製造科学技術センター、  
日本ロボット学会、華人教授会、在日中国科学技術者連盟、  
留日学人活動站
- (4) 協賛：トヨタ自動車、日立製作所

#### 4. プログラム

2日間の会期中、第一日目および第二日目の午前まで、日・中のゲスト講演者による特別講演および日・中双方の専門家による、日・中のロボット産業および技術開発の現状報告を行なう。第二日目午後には、講演者、会議参加者を含めて、メンテナンスロボット、ホームサービスロボット、産業協力、基礎研究の4分野に分かれて、日・中双方の参加者による今後の日中協力に向けた課題の討議を行なう。最終的には今後の交流のあり方についての提言をまとめる。

##### 開会挨拶 (1日目 9:00~9:30)

福川伸次 日中産学官交流機構理事長、元通産次官  
阮 湘平 中国駐日本国大使館参事官

##### 特別講演 (予定者) (1日目 9:30~12:00)

鄭 南寧 西安交通大学学長 / 中国工程院院士  
T.J.Tarn ワシントン大学セントルイス校教授  
石正 茂 科学技術振興機構研究開発戦略センター情報通信グループフェロー  
平井成興 (独)産業技術総合研究所知能システム研究部門長  
松島裕一 情報通信研究機構情報通信部門長  
高木宗谷 トヨタ自動車パートナーロボット開発部長

##### 挨拶 (1日目 13:30~13:40)

吉川弘之 産業総合研究所理事長、元東大総長、日中産学官交流機構特別顧問

##### 一般講演 (前半)

セッション1: メンテナンスロボット・極限作業ロボット (1日目 13:40~15:40)

(座長) 王 志東 (東北大)、松日楽信人 (東芝)、查 紅彬 (北京大)

1) 田所 諭 (東北大学大学院情報科学研究科教授)

「レスキューロボットと日中連携への期待」

2) 王 越超 (科学院瀋陽自動化研究所所長)

「中国の極限作業ロボット・レスキューロボットと日中交流への期待」

3) 柳原 好孝 (東急建設技術研究所メカトロ研究室室長)

「構造物メンテナンスロボットと日中交流への期待」

4) 譚 民 (科学院北京自動化研究所副所長)

「中国のメンテナンスロボット研究と中日交流への提言」

セッション2: ホームサービスロボット (1日目 16:00~18:00)

(座長) 黄 強 (北京理工大)、佐藤知正 (東大)、奥出直人 (慶応大)

余 永 (鹿児島大)

1) 王 田苗 (北京航空航天大学教授)

「中国医療ロボット現状とサービスロボットの中日交流」

2) 寺崎 肇 (三洋電機 研究開発本部ヒューマンエコロジー研究所ロボットプロジェクトリーダー)

「三洋電機におけるホームロボットと日中交流 (仮題)」

- 3) 黄 強 (北京理工大学教授)  
「中国ヒューマノイドロボット現状とホームロボットの中日交流」
- 4) 見持 圭一 (三菱重工業先進技術研究センター先進技術・電子グループ長)  
「三菱重工におけるホームロボットと日中交流」

**レセプション** (1日目 18:30 ~ 20:30)

**一般講演 (後半)**

セッション3: 産業協力 (2日目 9:30 ~ 11:30)

(座長) 馬 書根 (立命館大) 内山 隆 (富士通) 星野修二 (石川島播磨)  
曲 道奎 (新松機器人自動化股份有限公司)

- 1) 武田幸雄 (富士通研究開発中心有限公司 (FRDC) 総経理)  
「IT 分野における日中技術交流」
- 2) 曲 道奎 (新松機器人自動化股份有限公司総経理)  
「中国における工業用ロボット産業の現状と中日交流への期待」
- 3) 星野修二 (石川島播磨重工業技監)  
「日中交流の経験と日中交流促進への提言 (仮題)」
- 4) 馬 書根 (立命館大学COE推進機構教授)  
「中日交流経験に基づく中日交流の課題と提言」

セッション4: 基礎技術 (2日目 13:00 ~ 15:00)

(座長) 劉云輝 (香港中文大) 橋本周司 (早稲田大) 王碩玉 (高知工科大)

- 1) 張勁松 (国際電気通信基礎技術研究所専任研究員)  
「旅行会話のための日中自動音声翻訳システムを目指して」
- 2) 劉云輝 (香港中文大教授)  
「中国におけるロボティクスと中日交流 (仮題)」
- 3) 高西淳夫 (早稲田大学教授)  
「日本におけるロボットの基礎研究と日中交流」
- 4) 梶谷 誠 (信州大学監事)  
「メカトロニクス研究と日中交流」

**パネルディスカッション** (セッション毎の分科会) (2日目 15:30 ~ 17:30)

上記各セッションの座長を中心とする分科会

**総合討論とまとめ** (2日目 17:30 ~ 18:30)

各セッション代表からの発表とまとめ (谷江和雄氏)

**閉会挨拶** (2日目 18:30 ~ 18:40)

保田 博 関西電力顧問、元大蔵次官、日中産学官交流機構副理事長

## 5. 公用語

日本語 (ただし一部の講演は英語 (通訳なし) あるいは中国語 (逐次通訳) の予定)

## 6. 参加費および定員

日中のロボットに関する研究者、技術者を中心に 150 名、参加費無料

## 7. 運営体制

### (1) アドバイザリーボード

福川伸次（日中産学官交流機構理事長）  
保田 博（日中産学官交流機構副理事長）  
T.J. Tarn（ワシントン大学セントルイス校教授）  
Yu-chi Ho（ハーバード大学教授）  
鄭 南寧（西安交通大学学長）  
白井 太（NTT データフロンティア会長）

### (2) 組織委員会

吉川弘之（委員長、(独)産業技術総合研究所理事長）  
畚野信義（副委員長、国際電気通信基礎技術研究所社長）  
麿 昭男（副委員長、YRP 研究開発推進協会会長）  
飯倉督夫（(社)日本ロボット工業会専務理事）  
興 直孝（日本科学技術振興財団専務理事）  
清家彰敏（富山大学教授）  
瀬戸屋英雄（(財)製造科学技術センター専務理事）  
寺岡伸章（理化学研究所研究調整部主幹）  
徳田英幸（慶応義塾大学教授）  
中井徳太郎（東京大学教授）  
伏見泰治（常石造船会長）  
楊 開満（在日中国科学技術者連盟常務理事）  
大森慎吾（情報通信研究機構理事）

### (3) プログラム委員会

内山 隆（富士通研究所取締役）  
奥出直人（慶応義塾大学教授）  
查 紅彬（北京大学教授）  
佐藤知正（東京大学教授）  
谷江和雄（首都大学東京教授）  
萩田紀博（国際電気通信基礎研究所知能ロボティクス研究所長）  
橋本周司（早稲田大学教授）  
星野修二（石川島播磨重工技監）  
細田祐司（日立製作所機械研究所主幹研究員）  
黄 強（北京理工大学教授）  
馬 書根（立命館大学教授）  
松日楽信人（東芝研究開発センター研究主幹）  
劉 云輝（香港中文大学教授）  
王 碩玉（高知工科大教授）  
王 志東（東北大学大学院助教授）  
王 田苗（北京航空航天大学教授）  
曲 道奎（新松機器人自動化股份有限公司総経理）  
余 永（鹿児島大学）

第4回日中産学官交流フォーラム  
「ロボットの未来と日中交流」

《参加申込書》

日付：2005年11月 日

E-mail：送付先：[nicchu@mva.biglobe.ne.jp](mailto:nicchu@mva.biglobe.ne.jp)

FAX送付先：03 - 3556 - 9456

日中産学官交流機構事務局 柳瀬 行

2005年12月1日（木）2日（金）

東京大学山上会館大会議室

- ・ フォーラムに（参加する / 参加しない）
- ・ パネルディスカッションの希望セッション（いずれかに ）
  - ・ セッション1：メンテナンスロボット・極限作業ロボット
  - ・ セッション2：ホームサービスロボット
  - ・ セッション3：産業協力
  - ・ セッション4：基礎技術

貴社・団体名： \_\_\_\_\_

貴部署名： \_\_\_\_\_

お役職： \_\_\_\_\_

お名前： \_\_\_\_\_

ご住所： 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_

FAX： \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_

申し込み締め切り 11月28日（月）